

第37回 福島県児童・生徒木工工作コンクール 表彰式

◇とき 平成24年12月1日(土) 午前11時

◇ところ 福島県農業総合センター 大会議室

福島県木材青壮年協会

式 次 第

表 彰 式

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 来 賓 紹 介
4. 講 評
5. 表 彰
6. 祝 辞
7. 閉 会

記 念 撮 影

出席者名簿 (敬称略)

ご 来 賓

福島大学人間発達文化学類教授	新 井 浩	(あらい ひろし)
福島県農林水産部林業振興課長	大 高 明 彦	(おおたか あきひこ)
関東森林管理局福島森林管理署長	中 山 浩 次	(なかやま こうじ)
福島県木材協同組合連合会専務理事	宗 形 芳 明	(むなかた よしあき)

主 催 者

福島県木材青壮年協会長	大 平 宏 之	(おおひら ひろゆき)
-------------	---------	-------------

受 賞 者

福島県知事賞	第1部	佐 藤 琉 凱	(さとう りゅうが)
〃	第2部	齋 藤 謙 太	(さいとう けんた)
福島県教育委員会教育長賞	第1部	小 松 渚 紗	(こまつ なぎさ)
〃	第2部	栗 須 開 夢	(くりす かいむ)
〃	〃	栗 須 日 菜	(くりす ひな)
〃	〃	栗 須 光 希	(くりす こうき)
関東森林管理局長賞		枡 本 鼓 平	(ますもと こうへい)
福島民報社長賞		鈴 木 嘉英人	(すずき かえと)
財団法人福島県林業会館理事長賞		丹 治 馨 太	(たんじ きょうた)
福島県木材協同組合連合会長賞		青 山 愛	(あおやま あい)
NHK 福島放送局長賞		和 田 ほのか	(わだ ほのか)
ラジオ福島社長賞		高 野 瞳 子	(たかの とうこ)
福島テレビ社長賞		飯 塚 雄 哉	(いづか ゆうや)
福島県木材青壮年協会	第1部	齋 藤 颯一郎	(さいとう そういちろう)
〃	第2部	桑 折 拓 斗	(こおり たくと)

開催の趣旨

目 的

再生可能な循環型資源として広く知られている木材は、地球温暖化防止に極めて有効な二酸化炭素の固定の手段としても注目を浴びています。このように優れた特性を持つ木材を実際に自分で切ったり、削ったり、組み合わせながら、香り・色・肌触り等の木の持つ良さを実感することで、未来を担う子どもたちの感受性を豊かにするお手伝いをしながら木材の利用推進を図ります。

主 催 等

- ◇ 主 催 ◇ 福島県木材青壮年協会・福島民報社・福島県木材協同組合連合会
- ◇ 後 援 ◇ 福島県・福島県教育委員会・関東森林管理局・(財)福島県林業会館
NHK福島放送局・ラジオ福島・福島テレビ

応 募 資 格

- (1) 福島県内の小中学校の児童・生徒であること。
- (2) 木材及び林産物を主材料として利用・加工した創作品で、作品の大きさは一辺の大きさが75 cmを越えないもの。

審 査 基 準

- | | 配点 (100点) |
|----------------------------|-----------|
| (1) 子どもの頭で考え、子どもの手で作ったもの。 | 30点 |
| (2) 木の持ち味を活かし、独創性に優れていること。 | 30点 |
| (3) 機能、デザインが優秀であること。 | 20点 |
| (4) 工作技術が優秀であること。 | 20点 |

経過説明

審査内容

1. 出展作品数 総数1,010点(34校)
さらに、各支部の予選審査により31点が最終審査に出展された。
2. 審査会 平成24年10月19日郡山市において次の審査委員により「入賞者名簿」のとおり各賞が決定された。

◇審査委員長◇

福島大学人間発達文化学類教授

(敬称略)

新井 浩

◇審査委員◇

福島県林業研究センター所長

磯 武史

福島県教育長学習指導課指導主事

福地 淳一

福島民報郡山本社総括本部長

中尾 富安

NHK 福島放送局郡山支局長

星野 真

ラジオ福島郡山支社長

松本 良市

福島県木材協同組合連合会副会長

小松 昭人

福島県木材青壮年協会会長

大平 宏之



その他

3. 全国コンクールへの参加

上位入賞作品については、平成25年3月2日開催の全国コンクールに出展し、さらに入賞した作品については、6月1日岩手県盛岡市で開催される日本木材青壮年団体連合会全国会員大会会場において表彰される。

4. 作品の展示及び展示期間

(1)平成24年10月20日(土)～10月21日(日)

於：福島県林業研究センター(「第37回福島県林業祭」会場)

(2)その他

地域イベント会場等

講 評

第37回福島県児童・生徒木工工作コンクール審査委員長
福島大学人間発達文化学類教授
新 井 浩

第37回福島県児童・生徒木工工作コンクールの審査は10月19日、福島県林業研究センターで行われました。その感想と講評をおこないます。

今年は震災から2回目のコンクールです。やはり震災の影響から出品点数が少ない年になりましたが、作品から感じられる子どもたちの熱意と工夫は今までと変わらず、見る人に大きな感動と喜びを与える作品になっていました。

第1部の最優秀賞に選ばれた^{さとうりゆうが}佐藤琉凱君の〈ザ・クラゲ〉は、おがくず・シュロの皮をクラゲ本体に、細かな枝先を足に見立てた作品です。それぞれの質感が見事に活かされた作品で、発想も独創的でした。最優秀賞にふさわしい作品だと思います。

第2部の最優秀賞に選ばれた^{さいとうけんた}齋藤謙太君の〈フタバズキリュウ〉は、流木を福島で出土したフタバズキリュウに見立てた作品です。流木や木の皮の質感が存在感を増し、全体の組み立てに動きと重々しさがあったたいへん好感が持てました。

続いて優秀賞に選ばれた各作品について講評します。

^{こまつなぎさ}小松渚紗君の〈ぼくらの森のひみつ基地〉は、こうなって欲しいというあこがれが詰め込まれたツリーハウスです。いろいろなところに仕掛けがあって楽しく、質感や大きさがあって素晴らしい作品です。昨年の最優秀賞に続いての受賞です。

^{くりすかいむ ひな こうき}栗須開夢君、日菜さん、光希君の〈フクロウ〉は枝やおがくずでフクロウの家族の絆を表現した作品です。後ろの枝に動きがあり、フクロウの肌に工夫があったところが評価につながりました。家族の絆は大切です。これからも仲良く過ごしてください。

^{ますもとこうへい}枡本鼓平君の〈大阪城〉は技術のしっかりした作品です。石垣に使った木肌や屋根瓦の丁寧な細工は見応えがありました。歴史に興味があるのでしょうか。これからも多いに興味を持って調べたり作ってみてください。

^{すずきかえと}鈴木嘉英人君の〈福島心ひとつにいわき踊り!!〉はいわき踊りの様子を遠近法で表した作品です。たくさんの人物の表現に枝を工夫して使い、また遠近法を取り入れたところもたいへんな工夫でした。昨年の最優秀賞に続いての受賞です。

//////////
たんじきょうた
丹治馨 太君の〈あこがれのツリーハウス〉は木に枝を丁寧に並べて作った作品です。こんなツリーハウスに住みたいという気持ちのこもった作品になりました。

木肌の質感がとても良いと思いました。

あおやまあい
青山 愛さんの〈犬猫形の植木バチ〉は杉の木をくり抜いて植木バチにした作品です。子どもらしい伸びやかさがあり、動物たちの愛らしい表現がとてもよかったです。特に木の割れを耳に見立てたところにより工夫がありました。

わた
和田ほのかさんの〈森のパーティー〉はいろいろなところに見どころがある作品です。とても女の子らしい表し方で作られており、細かなところにも気を配った作品だと思いました。

たかのとうこ
高野瞳子さんの〈こんな森にすみたいな〉は森の中のアスレチックスペースを表した作品で、子どもらしいあこがれが楽しく表現された作品になっていました。

いづかゆうや
飯塚雄哉君の〈木のクレーン〉は建築用のクレーンを木材を使って丁寧な技術で作った作品です。細かな細工がむずかしかったと思います。また全体のバランスをとるのもたいへんだったと思いますが、すっきりと良い作品に仕上がりました。

さいとうそういちろう
齋 藤颯 一郎君の〈ラピュタのロボット兵〉は映画に登場したロボット兵を表した作品です。通常コンクールでは創作物をもとに作るのは評価が得られないのですが、この作品には工夫が見られました。足や腕の造り、頭部の木の選び方などです。次こそ自分の創作を試してみてください。

こおりたくと
桑折拓斗君の〈外来生物かみつきガメ〉はつるの編み込みでかみつきガメを作った作品です。つるを編むのはむずかしかったと思いますが、しっかりと作れていました。またかみつきガメを作ろうという思いつきがとても良かったです。

全体の講評にうつります。

このコンクールは賞をとったり、良い作品を作ることが一番の目的ではありません。子どもたちが木と親しみ、何かを作りたくなることが一番大切なのです。その中では子どもたちの成長に欠かせない、思いつく力や順番を考える力が養われます。そして自分のあこがれや希望を作品に表すという行為が何より重要です。

大人もそんな子どもたちを見守りながら、人間と創作活動、人間と木の文化の関係について考えていただく事が大切です。

今年は子どもらしい思いつきと伸びやかさのある作品が何点か入賞しました。とてもいいことだと思います。このように木を使って何かの活動をしていくことの素晴らしさを大勢の皆さんに体験してもらいたいと思います。木の文化の大きな輪を作っていこうではありませんか。 以上

入賞者名簿

(敬称略)

最優秀賞

福島県知事賞 1部

ザ・クラゲ

福島県知事賞 2部

フタバスズキリュウ

優秀賞

福島県教育委員会教育長賞1部

ぼくらの森のひみつ基地

福島県教育委員会教育長賞2部

フクロウ

〃

〃

関東森林管理局長賞

大阪城

福島民報社長賞

福島心ひとつにいわき踊り!!

(財)福島県林業会館理事長賞

あこがれのツリーハウス

福島県木材協同組合連合会長賞

犬猫形の植木バチ

NHK福島放送局長賞

森のパーティー

ラジオ福島社長賞

こんな森にすみたいな

福島テレビ社長賞

木のクレーン

福島県木材青壮年協会賞1部

ラピュタのロボット兵

福島県木材青壮年協会賞2部

外来生物かみつぎガメ

入選

福島県木材青壮年協会賞

ようせいたちのおしろ

木のしゃんたてとうさぎ

竜

家の中のおもちゃ箱

〃

自然の中のミッキーの家

ぼくの好きな絹谷分校

トトロの森

蛭田城

いわき市立小名浜第三小学校 4年 佐藤 琉 凱

いわき市立中央台東小学校 6年 齋藤 謙 太

いわき市立平第五小学校 3年 小松 渚 紗

いわき市立上遠野小学校 5年 栗須 開 夢

いわき市立上遠野小学校 4年 栗須 日 菜

いわき市立上遠野小学校 2年 栗須 光 希

いわき市立中央台東小学校 5年 栞本 鼓 平

いわき市立小名浜東小学校 6年 鈴木 嘉英人

いわき市立勿来第一小学校 6年 丹治 馨 太

郡山市立喜久田小学校 6年 青山 愛

いわき市立中央台東小学校 2年 和田 ほのか

いわき市立勿来第一小学校 3年 高野 瞳 子

いわき市立小名浜西小学校 4年 飯塚 雄 哉

いわき市立小名浜第二小学校 4年 齋藤 颯一郎

福島市立野田小学校 6年 桑折 拓 斗

福島市立庭坂小学校 3年 小林 穂 波

福島市立野田小学校 1年 岩城 愛 琉

福島市立庭坂小学校 5年 齋藤 圭一朗

郡山市立芳山小学校 3年 渡辺 柇

郡山市立芳山小学校 1年 渡辺 奈 生

郡山市立喜久田小学校 6年 鈴木 ま ゆ

いわき市立草野小学校絹谷分校 4年 猪狩 幸 太

いわき市立草野小学校絹谷分校 2年 芳賀 千 夏

いわき市立上遠野小学校 6年 蛭田 聖 也

☆☆☆第37回福島県児童・生徒木工工作コンクール入賞作品☆☆☆

(敬称略)

最優秀賞

福島県知事賞



「ザ・クラゲ」
いわき市立小名浜第三小学校
4年 佐藤 琉 凱



「フタバスズキリュウ」
いわき市立中央台東小学校
6年 齋藤 謙 太

優秀賞

福島県教育委員会教育長賞

関東森林管理局長賞



「ぼくらの森のひみつ基地」
いわき市立平第五小学校
3年 小松 渚 紗



「フクロウ」
いわき市立上遠野小学校
5年 栗 須 開 夢
4年 栗 須 日 菜
2年 栗 須 光 希



「大阪城」
いわき市立中央台東小学校
5年 柘 本 鼓 平

福島民報社長賞

(財)県林業会館理事長賞

福島県木連会長賞



「福島心ひとつにいわき踊り!!」
いわき市立小名浜東小学校
6年 鈴 木 嘉 英 人



「あこがれのツリーハウス」
いわき市立勿来第一小学校
6年 丹 治 馨 太



「犬猫形の植木バチ」
郡山市立喜久田小学校
6年 青 山 愛

NHK福島放送局長賞



「 森のパーティー 」
いわき市立中央台東小学校
2年 和田 ほのか

ラジオ福島社長賞



「 こんな森にすみたいな 」
いわき市立勿来第一小学校
3年 高野 瞳子

福島テレビ社長賞



「 木のクレーン 」
いわき市立小名浜西小学校
4年 飯塚 雄哉

福島県木材青壮年協会賞



「 ラピュタのロボット兵 」
いわき市立小名浜第二小学校
4年 齋藤 颯一郎



「 外来生物かみつきガメ 」
福島市立野田小学校
6年 桑折 拓斗

